

アスリート・ チーム役員 公式プレイブック

大会の安全と成功のためのガイド

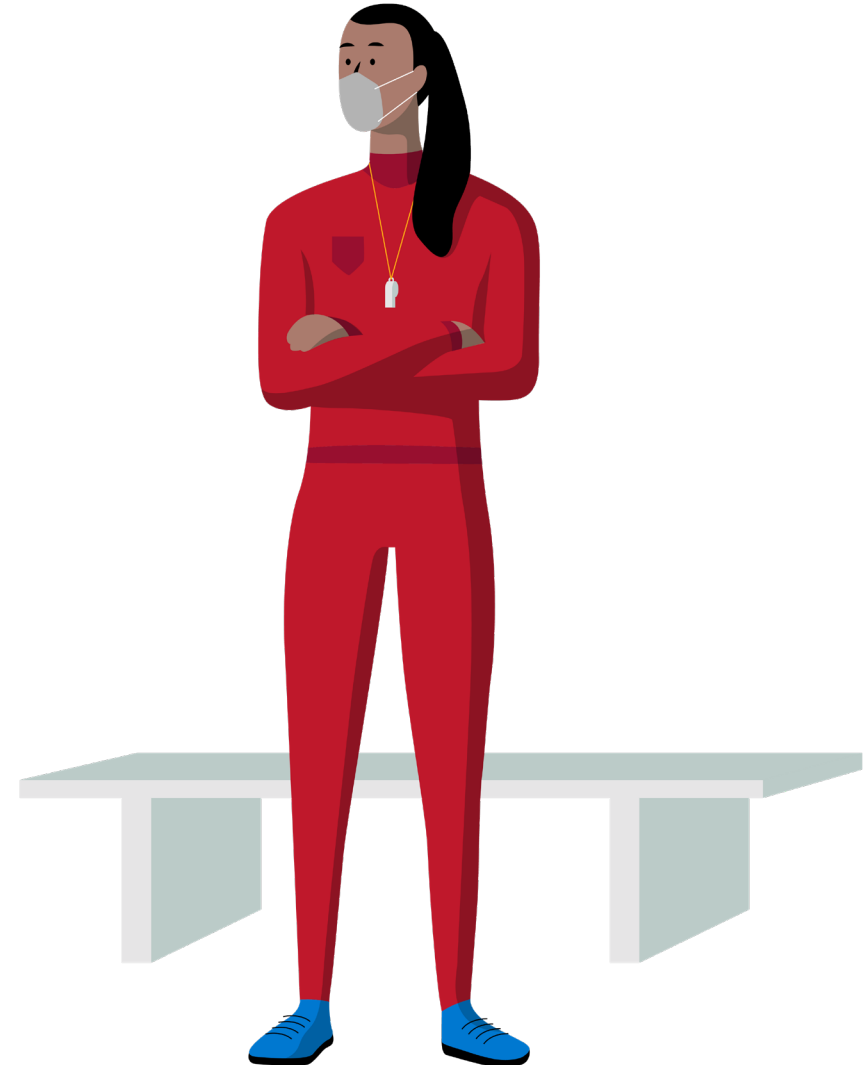


目次

このプレイブックは誰のためのもの？	3	お読みください	37
Stronger Together	4	大会時の検査受検フロー	38
		競技における対策	45
原則・方針	5	会場における対策	48
マスクの着用	6	選手村における飲食	51
最小限の物理的な接触	7	スマートフォンアプリ	52
検査、行動管理、隔離	8	ワクチン接種	56
衛生管理	9	コンプライアンスと制裁	57
ジャーニー（行程）について	10	⊕ 前回バージョンからの重要なアップデート	
イントロダクション/はじめに	11		
出発前	13		
日本への入国	18		
- 日本在住者	23		
大会時	24		
日本からの出国	34		

このプレイブックは 誰のためのもの？

アスリート	(Aa)
交代選手	(Ap)
チーム役員、関係者	(Ao, Ac and ATO)
トレーニングパートナーとパーソナルコーチ、TAP保持者	(P)
競技パートナー (パラリンピック向け)	(Ab)
選手団チーフドクター (パラリンピック向け)	(Am)
選手村運営者	(NOC, NPC)
アスリートシャペロン	(NOC, NPC)



STRONGER TOGETHER



今夏の東京2020大会を安全に開催するため、国際オリンピック委員会 (IOC)、国際パラリンピック委員会 (IPC)、東京2020組織委員会 (Tokyo 2020)、東京都 (TMG) および日本国政府は、健康とスポーツ大会の分野で世界をリードする専門家と共に、24時間体制で取り組みを行っています。また、日本および世界でのCOVID-19の進化を考慮に入れて、大会を運営するためのさまざまな対策を講じているところです。

大会のすべての参加者は、自身の安全を確保するために明確な役割を持っていると考えられます。この大会がどのように運営されるかを説明するプレイブック作成のために、私たち皆が力を合わせているのは、このためです。

2月のプレイブック第1版を受けて、すべてのステークホルダーとの間で、多くのブリーフィングやテレビ会議が行われました。ステークホルダーからいただいた広範なフィードバックと疑問の恩恵を受けるとともに、最近の国際的なスポーツイベントや専門家の科学的アドバイスからの継続的な学習もあり、プレイブック第2版は最新のガイダンスとなり、かつどのように大会が組織され運用されるのかに関するより詳細な情報を提供しています。よって、皆様はここから準備に関するヒントを得て、計画を実行することができるでしょう。

大会は急速に近づいてきており、私たちは東京2020組織

委員会やデリバリーパートナーと協力して準備ができつつあることを実感しています。

その他の詳細な運用上のおよびスポーツ固有の資料は、オンラインQ&Aと一緒に、今後数週間のうちに入手可能になり、更新される予定です。これらの情報では、このプレイブック第2版に対して引き続きお寄せいただくご質問についても説明します。

大会に先駆けて皆様を最大限にサポートするために、各国・地域のコロナ対策責任者 (CLO) がまもなく任命され、トレーニングを受けます。このコロナ対策責任者からの情報に加えて、6月に予定されているプレイブックの最終バージョンである第3版では、重要な変更に関する最新情報が提供される予定です。

大会は過去とは異なるものとなり、私たちは皆、適応することが求められています。海外からの観客がいないことに加えて、訪れることのできる場所の制限や、衛生面やフィジカル・ディスタンスなどの対策もあります。この「安全第一」の決断は、皆様、大会のすべての参加者、そして東京と日本の人々を守るために行われるものです。

今年の夏は世界の注目が東京に集まるでしょう。テレビ放送やかつてないオンライン取材の拡大により、この非常に困難な時期にトレーニングを続けてきたアスリートの

パフォーマンスは、世界中の何十億もの人々に必要とされている前向きな姿勢と希望を与えるものとなります。

安全で成功する大会を確保するために、私たち全員で責任を負わなければなりません。プレイブックを遵守し、卓越、敬意、友情の価値観を持ちましょう。克服しなければならない挑戦があり、さらには犠牲もあるかもしれません。しかし、**#StrongerTogether** (より強く、共に強く) あることで、他に類を見ない大会を経験することになります。

Kirsty Coventry

Chair of the IOC Athletes' Commission and Member of the Coordination Commission for the Games of the XXXII Olympiad Tokyo 2020

Robin Mitchell

Acting President of the Association of National Olympic Committees and Member of the Coordination Commission for the Games of the XXXII Olympiad Tokyo 2020

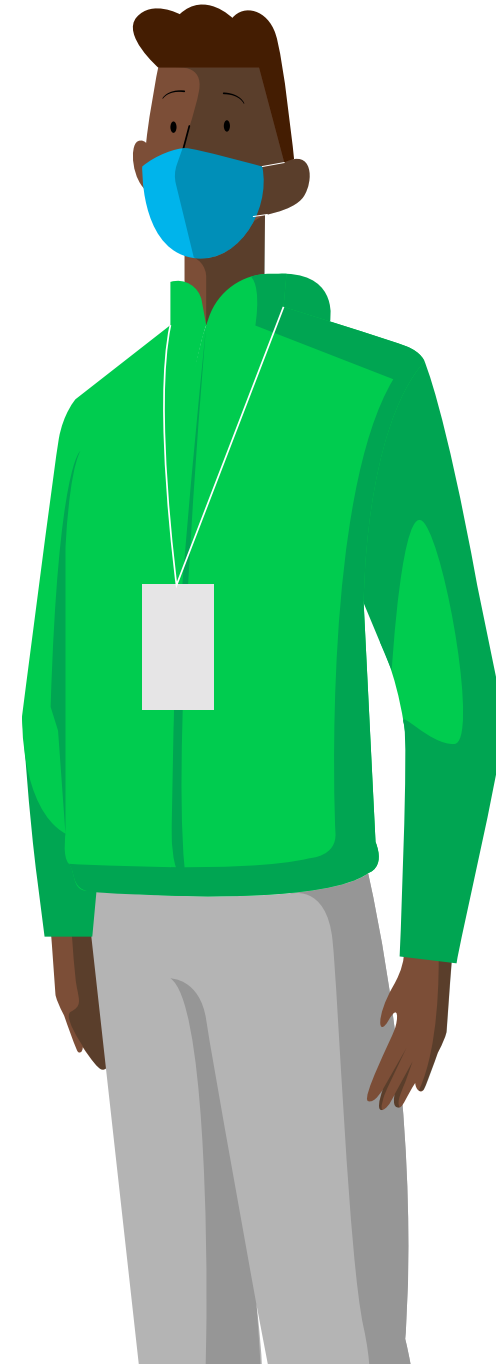
原則・方針

本プレイブックに記載の強化された新型コロナウイルス感染症対策は、すべての参加者にとって安全な大会の環境を作り出すことができるように計画されています。また、これらの対策は、私たちのホストである日本の居住者にさらなる保護をもたらします。大会参加者の皆様は、一般の方とのやり取りを最小限に抑えながら、日本にいる間は常にプレイブックを遵守する必要があります。



マスクの着用

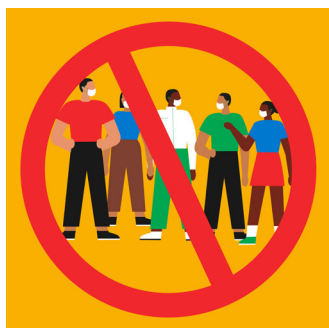
**皆様と周囲のすべての人を守るため、
 マスクを常に着用してください。**
 マスクは感染者から出る飛沫を捕らえるため、
 新型コロナウイルスの拡散を防止します。
 食事中、就寝時、練習時、競技中を除き、
 マスクを常時着用することで、すべての人に対して
 安全な大会の実現に貢献することができます。



最小限の物理的な接触

新型コロナウイルスは咳、くしゃみ、会話、歓声、歌などにより発生する飛沫を介し、人と人との距離が近い場面で人から人に感染します。混雑した場所、換気の乏しい環境や新型コロナウイルス感染者と近い距離にいる場合、感染リスクが高まります。以上のことから物理的な接触を最小限に留め、常にマスクを着用し、三密（密閉、密集、密接）を避けることが重要です。

#1



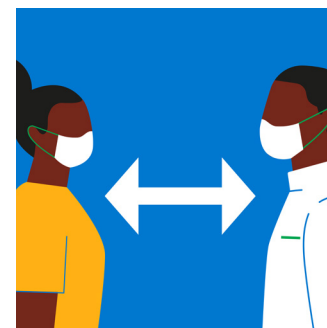
常にマスクを着用し、人との接触を最小限に抑えてください。

#2



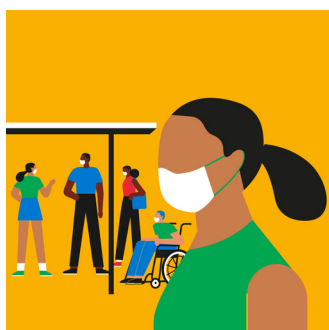
ハグや握手などの物理的な接触を避けてください。

#3



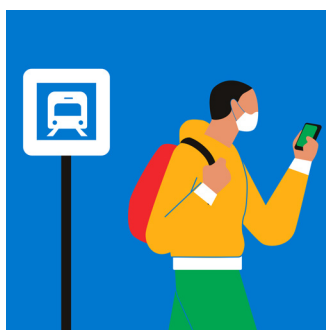
選手との距離は2メートルを確保してください。その他の人との距離は運営上のスペース内でも少なくとも1メートルを確保してください。

#4



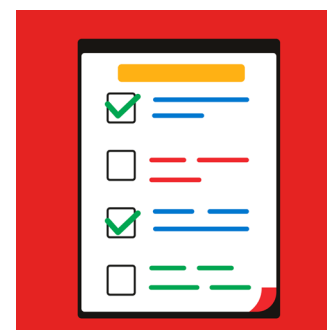
閉鎖された空間や混雑は出来る限り避けてください。

#5



移動の際は専用車両を使用してください。地方会場への移動などやむを得ない場合を除き、公共交通機関の使用は認められません。

#6



日本入国前に登録した活動計画書に記載の用務先以外は訪問できません。

検査・行動管理・ 隔離

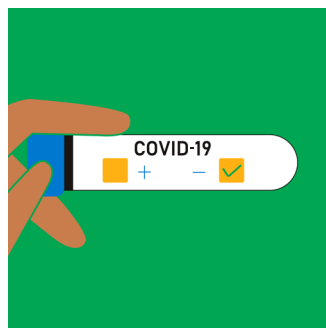
新型コロナウイルスの蔓延防止のため、人から人への感染の連鎖を止めることが不可欠です。そのため、検査を通じ新型コロナウイルス感染者を特定、行動履歴から濃厚接触者を把握、適切な期間の隔離をし、ウイルスが広まらないよう努めることが重要です。

#1



新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) と健康観察アプリをダウンロードしてください。健康観察アプリのリリースは6月を予定しています。詳細はp.52-54をご確認ください。また、新型コロナウイルス感染症対策のサポートとして使用されているほかのテクノロジーを使い慣れておくようにしてください。

#2



大会に向け自国出国前に新型コロナウイルスの検査を受け、陰性結果証明書を準備してください。日本の空港到着時に再度検査します。

#3



大会期間中、各自の役割に応じて定められた要領で、新型コロナウイルスの検査を定期的にかけてください。

#4



症状がある場合、または保健当局からの指示があった場合、検査を受けてください。検査の結果が陽性の場合、隔離されます。

+ 濃厚接触とは

発症の2日前から隔離開始までの間で、陽性が確認された者と、マスクを着用せずに1メートル以内で長時間(15分以上)接触した者。この定義は特に、ホテルの客室や車内など閉鎖された空間でこのような接触が起きた場合に適用されます。

濃厚接触者の認定は、各個人及び所属組織、東京2020組織委員会により提供される情報に基づき、保健当局により判断されます。

衛生管理

新型コロナウイルスは、感染者から出る飛沫を介して日常生活のさまざまな場所に生息します。手でそれらの物に触れてから、目、鼻、または口に触れると、感染するリスクがあります。そのため私たちは基礎的な衛生管理—定期的かつ徹底的に手を洗うこと、表面を消毒すること、顔を触らないようにすること、常にマスクをすること—を忘れてはなりません。

#1



マスクを常時着用してください。

#2



定期的に手を洗い、可能な場合は手指消毒剤を使用してください。

#3



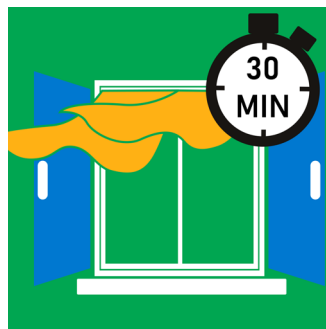
歌ったり連呼したりせず、拍手することでアスリートを応援してください。

#4



可能な限り共有物品の使用を避けるか、それらを消毒してください。

#5



30分ごとに部屋と共用スペースを換気してください。

ジャーニー (行程) について



イントロダクション / はじめに

プレイブックは、すべてのオリンピック・パラリンピック参加者と日本国民がこの夏、安全で健康な大会を実現するための大会計画の基礎となるものです。

このプレイブックは、東京2020組織委員会、国際オリンピック委員会 (IOC)、国際パラリンピック委員会 (IPC) によって共同製作されました。このプレイブックは、世界保健機関 (WHO)、日本政府、東京都、世界中の専門家や専門組織からなる「オール・パートナー・タスクフォース」の取組みに基づいています。

このプレイブックは、選手とチーム役員の責任を定めたものですが、各国オリンピック委員会 (NOC) / 各国パラリンピック委員会 (NPC) からのより広範な情報と併せて検討する必要があります。

大会運営上の追加の文書 (Athletes and Team Officials Guide, Team Leaders Guide, Sport Entries Manuals, Period of Stay Guidelinesなど) は、Tokyo 2020 Connect を通じてNOC/NPCに提供されます。これらは大会に向けて定期的に更新される予定です。

このルールは、競技や居住地に関係なく、すべてのアスリートやチームの役員に同じように適用されます。

日本政府によって求められるものを含め、渡航の14日前から日本滞在期間中を通じた計画や段取り、従うべき規則を理解してください。大会に参加する際には、自分の役割に責任を持つことが重要です。アスリートとして、またチームの役員として、皆様が基準を作るのです。

+ **コロナ対策責任者 COVID-19 Liaison Officers (CLOs)***
 すべての NOC/NPC はコロナ対策責任者 (COVID-19 Liaison Officer (CLO)) の指名を求められます。この担当者は、新型コロナウイルスに関連するすべての事項についての重要な窓口となります。また、IOC/IPC、東京2020組織委員会、日本の保健当局との窓口にもなります。

所属メンバーの日本滞在期間中、コロナ対策責任者も日本に滞在している必要があります。必要に応じて、コロナ対策の監督補助員を任命し、プレイブックの遵守状況の確認を行ってください。

コロナ対策責任者は、このプレイブックを理解し、それに皆様が従うことを確実にする責任があります。大会前には特定のトレーニングが行われます。ステークホルダーグループごとに専用のサポート体制が設けられます。

*詳細な役割はNOC/NPCに共有されている「NOC/NPCにおける、コロナ対策責任者の役割と責任」を参照してください。

競技ごとの対策

競技運営における新型コロナウイルス感染症対策の基本原則については、p.45を参照してください。競技ごとの

+ **新型コロナウイルス感染症対策は、5月までにNOC/NPCに対して「Athletes and Team Officials Guide, Team Leaders Guide and Technical Official Guide」として示されます。**

+ **このルールはいつから適用されるか**

このプレイブックは、原則、大会本番時を想定して書かれています。4月23日からはじめられたPVC*による入国者については、その時点で政府が求める措置に従う必要があります。

PVCは4月23日より他の書類と併せて入国書類として有効になります。p.13「出発前」参照

このプレイブックのルールと新型コロナウイルス感染症対策は、大会が近づくにつれて段階的に導入されます。

いくつかの新型コロナウイルス感染症対策 (例:スクリーニング検査) やサービス (例:輸送) は、大会期と大会前では異なったものになります。早期に来日する場合、皆様の所属する組織と東京2020組織委員会で連携し、皆様が入国される際に適用される措置やPlaybookに記載されている対策の導入日について確認します。

Playbookの導入についてのさらなるガイダンスはNOC/NPC向けに共有される予定です。

イントロダクション / はじめに

ルール変更の可能性

このプレイブックは、現在日本で求められる対策や要件およびオリンピック・パラリンピック競技大会時に見込まれる状況に関するIOC、IPC、東京2020組織委員会の現在の理解のもとに書かれています。

今後の日本の状況によっては、入国手続きの変更を含め、さらに対策が変更される可能性がありますので、日本政府や東京都と連携し、状況変化や規制に変更があった場合は、逐次それらへの対応を考慮に入れる必要があります。

プレイブックの更新版では、現在記載されている制限事項よりも多くの制限事項が含まれる可能性があります。最終版となる予定の次版は2021年6月までに発行される予定です。

責任とリスク

私たちは、ここに記載された対策が大会参加に伴うリスクや影響を軽減するものと信じており、これを遵守するために皆様からのご支援を期待しています。しかし、あらゆる配慮にもかかわらず、リスクや影響が完全に排除されるとは限らないため、オリンピック・パラリンピック競技大会へ自己責任で参加することに同意するものとします。



出発前



① このプレイブックをよくお読みください

- 出発前に、このプレイブックを読み、プレイブックの内容をよく理解し、プレイブックに書かれたルールを全て遵守することの重要性を確認してください。
p.57「コンプライアンスと制裁」参照

行程は空港から始まるわけではありません。これからは最新のプレイブックを読み込み、理解する時間を確保いただく必要があります。もしご質問があれば、オリンピック・パラリンピック競技大会前に、ご自身の国のNOC/NPCまたはコロナ対策責任者に適宜お問い合わせください。入国に関するルールは日本当局の要件に従って定められており、出発の14日前からプレイブックの規則が適用されます。この期間中に正しい認識を持つことが重要となります。

最新の状況を踏まえ、日本政府と連携の上、入国手順に関して更なる変更が加えられる可能性があります。

日本滞在期間が補償対象となる、治療費（新型コロナウイルス感染症への対応含む）や緊急帰国の費用を補償する保険に加入する必要があります。

- 選手及びチーム役員に関しては、東京2020組織委員会が、選手村のプレオープンから選手村の閉村日までの期間（オリンピック：7/7-8/11、パラリン

ピック：8/15-9/8）についての保険を提供します。
なお、保険は日本滞在中に発生する費用のみに適用となりますのでご注意ください。

- 通常の大会のとおり、この期間外の保険はNOC/NPCにてご手配ください。

● 事前キャンプもしくは大会後のホストタウン交流プログラムに参加される場合：

- 地域での対策についてはホストタウン受入れマニュアルをお読みください。
 - 出発1か月前までにNOC/NPCはこれらの対策への遵守を確認してください。
- 原則、用務先は宿泊場所と練習会場または交流会場（交流を実施する場合）に限ります。
また、地方会場への移動などやむを得ない場合を除き、公共交通機関の使用は認められません。
- 事前キャンプやホストタウン交流プログラムは、施設の合意だけでなく、受け入れ責任者となる自治体との合意がないと実施できません。

⊕ コロナ対策責任者によるサポート

- コロナ対策責任者は皆様のプレイブック遵守を確認する責任があります。
- 本邦活動計画書を東京2020組織委員会に提出し、誓約書を皆様へ提供します。
- 日本滞在中の濃厚接触調査対象者リストの作成をサポートします。
- 出国前に陽性になった場合は、直ちにコロナ対策責任者に連絡してください。
- 新型コロナウイルス感染症対策について質問や懸念がある際は、コロナ対策責任者にご確認ください。

検査・行動管理・ 隔離

- PVC (オリンピックID兼アクレディテーションカード、パラリンピックID兼アクレディテーションカードの有効化前カード) を保有していることを確認してください。
- ⊕ **コロナ対策責任者から誓約書を受け取ってください。検疫に提示する必要があります。**
 - 誓約書は日本政府から提出が求められている書類です。訪日者の受入責任を負うことやプレイブックの遵守を徹底することについて、東京2020組織委員会が署名をするもので、皆様の署名は不要となります。
 - なお、誓約書については健康観察アプリ導入後アプリ画面の提示に代えることができます。詳細は次版のプレイブックでお示しします。
- **本邦活動計画書***を策定してください。
 - コロナ対策責任者と連携し、本邦活動計画を策定してください。
 - コロナ対策責任者は東京2020組織委員会に提出し、日本当局の承認を得る必要があります。
 - 本邦活動計画書は、一度承認された後の変更は原則認められないため、可能な限り包括的なものとするのが重要です。
- ⊕ **本邦活動計画書には以下の項目を含める必要があります:**
 - 入国者情報 (名前、パスポート番号、所属NOC/NPC)
 - 宿泊先住所
 - 用務先 — 大会公式会場、用務先として認められる限られた場所
 - フォーマットは現在最終の段階にあり、簡単な方法で用務先を選択する方法を検討しています。
 - 公共交通機関 (航空機・新幹線) の利用日時・利用区間・利用がやむを得ない理由 等

*本邦活動計画書のテンプレートおよびスケジュールについては別途NOC/NPCに示されます。
- 航空会社や経由地、日本入国で必要とされる新型コロナウイルス検査と陰性結果証明書に関する**最新情報を確認してください**。日本政府の[リンク](#)を参考にしてください。
- **COCOAと健康観察アプリをダウンロードしてください。**
 - 健康観察アプリのリリースは6月を予定しています。詳細はp.52「スマートフォンアプリ」をご確認ください。
- **日本入国前14日間の健康観察を行ってください。**
 - 毎日検温をしてください。
 - 自主的に毎日の健康状態の確認 (新型コロナウイルスの症状に該当しているのかどうかの確認等) をしてください。新型コロナウイルスの症状に関する[WHOのガイドライン](#)を参照ください。
- **入国前14日間に症状がある場合**
 - 日本への渡航は中止してください。コロナ対策責任者へ報告し、対応方法について説明を受けてください。
- ⊕ **健康観察アプリのリリース前に日本へ渡航する場合は、日本政府の[質問票web](#)に入力を行ってください。**
 - 健康観察の結果や日本での宿泊先の入力が必要られます。
 - フォームを提出するとQRコードが示されます。スクリーンショットを撮るかプリントアウトし、検疫に提示してください。

検査・行動管理・ 隔離

+ 出発の96時間以内に新型コロナウイルス検査を別々の日に2回受検してください。

(直行便に搭乗しない場合は、最初に搭乗する便の出発時刻が現地出発時刻となります。)*

- 日本政府の指定する「[COVID-19に関する検査証明](#)」に記載の方法で検査を受けてください。
- 現時点で承認されている新型コロナウイルス検査の種類(唾液または鼻咽頭ぬぐい)は、RT-PCR検査、核酸増幅検査(LAMP、TMA、TRC、Smart Amp、NEAR)、次世代シーケンス法、抗原定量検査(CLEIA)です。
- 現在、日本国入国に際して承認される検査機関リストを作成しており、コロナ対策責任者に提供される予定です。リストに利用可能な検査機関が含まれていない場合、コロナ対策責任者は東京2020組織委員会と連携し、リストに検査機関を追加することができます。

*2回の検査のうち1回は出発の72時間以内に受検する必要があります。大会前に来日する場合、出発の72時間以内に検査を受検してください。出国96時間前に2回検査が必要となる時期については、別途提示されます。

+ 新型コロナウイルス検査で陰性の場合、陰性結果証明書を取得してください。

検査証明書の形式等については、日本政府の定める所定のフォーマットを使用、もしくは、日本政府が指定する以下の必要情報を記載したものが必要となります。

- 交付年月日、氏名、パスポート番号、国籍、生年月日、性別、採取検体、検査法、結果、結果判明日、検体採取日時、医療機関名及び住所、医師の署名
- 空港でのチェックインおよび搭乗時に陰性結果証明を示す必要があります。証明書をお持ちでない場合は、搭乗できない可能性がありますのでご注意ください。

• 新型コロナウイルス検査で陽性の場合:

- 当該地の規則に従い、自己隔離を実施してください。
- コロナ対策責任者に報告してください。当該責任者より、該当者の症状、検査結果、濃厚接触を把握の上、東京2020組織委員会に報告され、その先の手段について合意がされます。

ソーシャル

- 日本へ渡航する前の14日間は、他人との物理的な接触を最小限にしてください。
- 日本滞在中の**濃厚接触調査対象者リスト**を作成してください。例としては、ルームメイト、コーチ、理学療法士、チームメイトが挙げられます。
 - 濃厚接触調査対象者リストはコロナ対策責任者へ提出してください。コロナ対策責任者は必要に応じ接触者追跡の補助などに使用します。



衛生管理

- 徹底した衛生管理を行ってください。(常時マスク着用、定期的な手洗いまたは手指消毒)
- 日本滞在中に常時マスクがあるよう、各自の責任で確保してください。すべての人にマスクを用意する責任があります。NOC/NPCから提供される場合もありますのでコロナ対策責任者に確認してください。
 - マスク着用に関しては、WHOの推奨事項に従ってください。
 - 布製のマスクを使用する場合、定期的に高温洗濯が可能で、少なくとも二重、理想的には三重のものを使用してください。
 - 内層には綿のような吸収力があるものを使用してください。
 - 中間層にはポリプロピレンのような不織布を使用してください。
 - 外層にはポリエステルを含んだ吸収力のないものを使用してください。
 - メーカーの推奨事項や製品の衛生証明を確認してください。
- **注意:**
 - マスクは毎日一回は洗濯を行い、湿ったらすぐに取り換えてください。高温多湿な気候では通常より多くのマスクを必要とする場合があります。
 - マスクのブランディングに関するガイドラインについて確認してください。詳細は[WHOマスク着用に関するガイドライン](#)をご参照ください。

日本への入国

日本へ到着した際、空港及びその先の移動において、日本政府の指示及び、以下の事項を遵守しなければなりません。

日本での滞在期間中は、フィジカル・ディスタンスを保ち、適切な衛生対策を講じる必要があります。

最新の状況を踏まえ、日本政府と連携の上、入国手順に関して更なる変更が加えられる可能性があります。

⊕ コロナ対策責任者によるサポート

- 到着時の検査で陽性となったり、新型コロナウイルスの症状が出た場合は、コロナ対策責任者に電話で連絡してください。



検査・行動管理・ 隔離

- ④ 検査及び出入国在留管理庁へ提示の準備をしてください:
 - パスポート、又はPVCに紐づいた渡航証明書、およびPVC (またはOIAC/PIAC)
 - 陰性結果証明書 (原本または写し) *: 不所持の場合、入国できませんのでご注意ください。
 - 東京2020組織委員会による誓約書 (写し) : 不所持の場合、入国後14日間待機を要請されることとなりますので、ご注意ください。
 - 入国前14日間健康情報を質問WEBへ入力し取得したQRコード (写しまたはスクリーンショット)
 - 機内および/または空港で記載した追加書類
- 到着時にCOCOAを有効化し、Bluetoothをオンにしてください。
- ④ - スマートフォンの位置情報保存機能をオンにしてください。疫学調査に利用される場合があります。詳細については、「スマートフォンアプリ」p.52-54をご確認ください。
- 日本入国の際、新型コロナウイルス検査 (現在は唾液抗原検査) を受ける準備をしてください。
- ④ - 空港で検査結果が出るまで指定場所にて待機してください。
- 検査結果が不明の場合等、検疫当局が必要と判断した場合に再検査が行われます。
- 検査結果が陽性だと確認された場合
 - 日本の保健当局の指示のもと隔離**されます。
 - 至急、コロナ対策責任者に電話等で連絡してください。コロナ対策責任者は、必要に応じて、東京2020組織委員会、または事前キャンプのホストタウンと協議します。
- *2回の検査のうち1回は出発の72時間以内に受検する必要があります。大会前に来日する場合、出発の72時間以内に検査を受検してください。出国96時間前に2回検査が必要となる時期については、別途提示されます。
- 新型コロナウイルスの症状があらわれた場合
 - 至急、コロナ対策責任者に電話等で連絡してください。コロナ対策責任者は、必要に応じて、東京2020組織委員会、または事前キャンプのホストタウンと協議します。[WHOによる、コロナ症状に関するガイドライン](#)を参照してください。

**隔離に関する詳細は、p.25-28「大会時」の「検査・行動管理・隔離」を参照してください。

検査・行動管理・ 隔離

④ 到着後最初の3日間

2021年2月にプレイブック第一版が発行されて以降、日本での入国ルールは見直しが行われ、入国後3日間は自室で隔離をしなければなりません（到着日は0日目とみなされます）。

ただし、アスリート、チーム役員、大会関連の重要な活動を担う大会参加者は、以下を前提として、入国後直ちに活動を行うことができます。

- 入国後3日間、毎日検査を実施し陰性であること、かつ
- 東京2020組織委員会による厳格な監督のもとで活動すること

入国後14日間、宿泊施設での隔離という別の選択肢もあります。

④ 事前キャンプに参加する場合は、

原則として毎日検査が実施されます。選手村到着日も検査が実施されます。分村および分宿についても同じ方針が適用されます。



ソーシャル

- **東京2020組織委員会とNOC/NPCの指示に従い、可能な限り迅速に空港を通過してください。**
 - アクレディテーション有効化カウンター以外のサービス施設やお店に立ち寄らないでください。
 - 他者との接触を最小限にするために、大会公式空港が提供する大会専用レーンを使用してください。
- **選手村（分村、分宿を含む）での滞在について**
 - NOC/NPCの指示に従ってください。
 - 詳細は、「オリンピックビレッジ滞在期間ガイドライン」および「パラリンピックビレッジ滞在期間ガイドライン」を参照してください。
- **移動の際は、大会専用車両を使用してください。**
地方会場への移動などやむを得ない場合を除き、公共交通機関の使用は認められません。詳細は、p.30「大会時」の「移動について」を参照してください。

パラリンピックの 考慮事項

車いすやその他の移動支援機器は、特定の状況で他者（例：旅行時の航空会社職員など）に扱われることがあるので、除菌シート等で触れられる箇所を定期的に消毒してください。



④ 日本在住者

大会前

- 日本在住者についても、海外からの渡航者が日本入国前の14日間に適用されるものと同程度の行動規範が求められます。
- 選手村*への入村日又は選手村に入村しない場合は大会行事（公式練習を含む）に参加する日の14日前からは以下の追加の措置が適用されます。
 - COCOAと健康観察アプリをダウンロードしてください。健康観察アプリのリリースは6月を予定しています。詳細はp.52-54「スマートフォンアプリ」をご確認ください。
 - 健康観察を行う必要があります。
 - 他者との接触を最小限にしてください。
 - 公共交通機関を利用する際は交通事業者が実施する感染予防の取組にご協力ください。
 - 国内在住の方（海外から入国し14日間経過した方を含む）は、入村前の72時間前又は選手村に入村しない場合は大会行事（公式練習を含む）に参加する日の72時間前に新型コロナウイルス検査を受けてください。

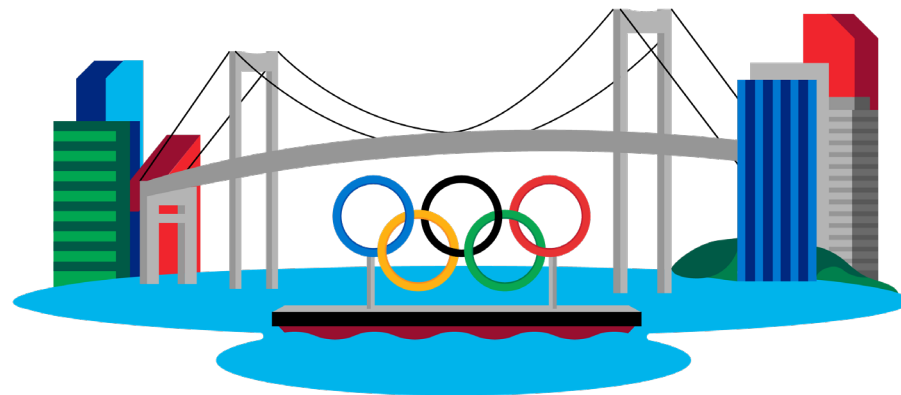
大会中

- p.24-33「大会時」に記載のルールに従って行動してください。

*詳細は、「オリンピックビレッジ滞在期間ガイドライン」及び「パラリンピックビレッジ滞在期間ガイドライン」を参照してください。



大会時



日本滞在期間中を通じてフィジカル・ディスタンスを取り、衛生管理を徹底する事が皆様の安全と健康の維持に繋がります。

可能な限り接触を回避するため、運営上必要不可欠な者に厳に限定してアクセデーションを発行し、会場へのアクセスを制限します。

ご自身で責任をもって、毎日健康観察アプリを通して自身の健康観察を行い報告してください。なお、国内在住者の健康管理の方法は、別途ご連絡します。

新型コロナウイルス検査は感染リスクを最小限に抑えるために極めて重要です：一般的スクリーニングや陽性者の濃厚接触者、また、コロナの症状が確認された人への診断にも使用されます。

最新の状況を踏まえ、日本政府と連携の上、更なる変更が加えられる可能性があります。

+ コロナ対策責任者によるサポート

- 検査で陽性となったり、コロナの症状が出た場合は、コロナ対策責任者に連絡してください。
- コロナ対策責任者は、毎日の健康観察結果のアップロードをサポートします。
- ルールなどが分からない場合は、コロナ対策責任者に尋ねてください。

検査・行動管理・ 隔離

- 毎日、**積極的な健康観察**を行い（例：検温、コロナ感染の兆候の有無）、健康観察アプリを介して結果の報告をしてください。健康観察アプリのリリースは6月を予定しています。
 - なお、国内の方の健康管理方法は、別途ご連絡します。詳細はp.52「スマートフォンアプリ」をご確認ください。
- **競技会場入場時に検温が実施されます。**
 - 37.5度以上の体温があった場合、時間を置いて二度目の検温を行います。
 - 再度37.5度を越えた場合、会場への立ち入りできません。コロナ対策責任者に連絡し、その指示に従ってください。隔離室へ移動し、その後の対応があるまで待機してください。
 - 検温の手順及び場所についての詳細は、次版プレイブック更新時まで提供される予定です。



検査・行動管理・ 隔離

④ スクリーニング検査

- 出発前及び入国時の検査に加え、未検出の陽性者によって感染が広がるリスクを最小限に抑えるため、原則として毎日検査が実施されます。
- 検査日時は、競技種目や大会スケジュールに応じてコロナ対策責任者により設定されます。競技ごとの検査スケジュールに関する詳細は、5月に発行されるTeams Leaders Guide/ Technical Officials Guideに記載されます。
- 検査は、選手村等の専用エリアにおいて監督下で実施されます。
- 最初の検査は唾液抗原検査により実施されます。最初の検査の結果が不明確または陽性の場合には、同じ唾液の検体を使用して唾液PCR検査が行われます。
 - その日の何時に検査を受けたかにより処理にかかる時間が変わるため、通知が来るまでの期限が伝えられます。
 - 最大の処理時間はおよそ12時間となります。2回目の検査の結果が不明または陽性の場合、各個人およびコロナ対策責任者は通知を受けます。
 - 期限までに通知がなければ、検査の結果は陰性です。

- 通知を受けた後、各個人は選手村発熱外来等に行き、結果を確認するために鼻咽頭PCR検査による再検査を受けなければなりません。結果が出るまで（3～5時間）発熱外来にて待機することが求められます。
- 自己手配ホテルに滞在しているアスリートやアスリートに同行するチーム役員も、上記選手村に滞在している者と同じ手順に則って検査を受ける必要があります。
- 複雑なケースの結果の解釈についてのプロトコルは、検査結果に関する専門家諮問グループ（RAEG）によって作成されます。このグループは複雑なケースの解釈検討の際にも招請される可能性があります。

検査に関する情報の詳細(タイミング、検査結果と場所の伝達方法)、検査予約システムに関する詳細は、遅くとも2021年6月のプレイブック更新時まで提供予定です。

- 事前キャンプや大会前のホストタウン交流プログラムに参加する場合；原則として毎日検査が実施されます。詳細は決定次第提供される予定です。

検査・行動管理・ 隔離

- 滞在期間中に新型コロナウイルスの症状が出た場合
 - 直ちにコロナ対策責任者に連絡をし、その後の措置について指示を受けてください。
 - 大会会場では会場の医務室（隔離室）で診察を受けた後、大会指定病院等へ搬送されます。
 - 選手村では、新型コロナウイルスに感染している可能性が高い場合、選手村の発熱外来（又は他の指定医療施設）で新型コロナウイルス検査が必要となります。検査結果が出るまで発熱外来にて待機してください。[WHOの症状に関するガイダンス](#)を参照。
- 大会期間中に陽性結果が確認された場合
 - 直ちに隔離を開始し、コロナ対策責任者に連絡をしてください。
 - 継続した隔離又は入院が求められます。大会には出場できません。
 - 隔離場所及び隔離期間は日本の保健当局が症状に応じて決定します。
 - 隔離期間に関する詳細（WiFi、デリバリー、アクセス、コロナ対策責任者やチームとの連絡等）については検討され、追って提供されます。
 - 隔離解除は日本の退院基準・解除基準に沿って決定されます。
- ⊕ コロナ対策責任者の主な業務は以下の通りです
 - コロナ対策責任者は陽性者の活動を調査し、最初に症状が現れた時または検査を受けて隔離を開始した日から二日前まで遡って濃厚接触者及び往訪した会場を調査します。
 - コロナ対策責任者は日本の保健当局（自治体の保健当局も含む）及び東京2020組織委員会と協議し、特定箇所の消毒などさらなる対策を決定します。

詳細は5月にコロナ対策責任者に提供されます。

検査・行動管理・ 隔離

④ 大会期間中に陽性者と接触する機会があった場合

- 陽性者と近距離で接触、或いは長時間接触した場合は、感染のおそれがあるため、保健当局によって「濃厚接触者」と認定される場合があります。

濃厚接触者の定義：

発症の2日前から隔離開始までの間で、陽性が確認された者と、マスクを着用せずに1メートル以内で長時間（15分以上）接触した者。この定義は特に、ホテルの客室や車内など閉鎖された空間でこのような接触が起きた場合に適用されます。

- 濃厚接触者の認定は、各個人及び所属組織、東京2020組織委員会により提供される情報に基づき、保健当局により判断されます。
- 陽性者の濃厚接触者である場合、当該接触者がウイルスを拡散するリスクを考慮し、ケース・バイ・ケースで適用される措置が決定されます。競技参加の許可を得るには下記が必要となります。
 - 専門家諮問グループ（RAEG）が決定する期間中、毎日受ける鼻咽頭PCR検査の結果が陰性
 - 日本の保健当局によって確認され、場合によって病歴も考慮された、RAEGによるあなたの健康状況の肯定的な評価
 - IFからの同意

- 競技参加が許可される場合、他者との接触を更に最小限に抑制すること、個室への移動、一人での食事、専用車両の使用、トレーニング中や競技会場における分離など、対策の強化が求められることがあります。

ソーシャル

- 他者との接触をできる限り避けてください。
- 他者と2メートル以上の距離を保つようにしてください。
 - 運営上の都合により、競技場 (FOP) と準備エリアなどでアスリートと他者との距離が2メートル未満となる場合には、東京2020組織委員会、IOC/IPC、IFは必要な対策を検討し、実施します。
- 他の人との交流を最小限にしてください。ハグ、ハイタッチ、握手など物理的な接触は避けてください。
- 常に濃厚接触調査対象者リストを最新にしてください。
- 可能な限り人ごみや密閉された場所を避けてください。
 - フィジカル・ディスタンスを確保することができない場所に、不必要に長時間滞在することは避けてください。エレベーターなどの人が密集する空間での会話は控えてください。
- 食事の際は他者との接触を最小限に抑えるため、2メートルまたは指定の距離を保ち、なるべく一人で食事をしてください。
詳細はp.51「選手村飲食関連情報」をご確認ください。
- ⊕ **選手村へのアクセスは下記のとおりです。**
 - NOC/NPC代表団メンバーはアクセスが認められます。
 - ゲストのアクセスは原則認められません。
- アンチドーピングは国際基準や安全衛生措置、WADAのガイドラインに沿ってオリンピックについては国際検査機関、パラリンピックについてはIPCの下で実施されます。
- ⊕ **行ける場所、できること**
 - 大会期間中は、観客席には行けません。ただし、SDAシート (同種別選手用観戦席) は認められます。
 - 14日間の本邦活動計画書に記載した活動に限定してください。
 - 宿泊施設を離れることができるのは、大会公式会場と用務先リストに規定された限定的な場所に行くときのみです。許可される行き先は大会にとって不可欠な場所であり、新型コロナウイルス感染症対策が施されます。
 - 国内在住者や既に日本に14日以上滞在している各人との1メートル以内*での接触を最小限にしてください。
 - 常時マスクを着用しなければなりません。
 - 公共交通は使用してはいけません。
 - 観光地、ショップ、レストラン、バー、ジムなどに行ってはいけません。
 - 東京2020組織委員会が提供する宿泊施設に滞在することを強く推奨されます。
 - 自己手配宿泊施設に滞在する場合、常にプレイブックの規則を遵守しなければなりません。また、東京2020組織委員会が該当地方自治体と連携して新型コロナウイルス感染症対策の実施を促進でき

ソーシャル

るよう、東京2020組織委員会に宿泊先情報を提供しなければなりません。

- 滞在を予定している宿泊施設について、関連する全ての新型コロナウイルス感染症対策の実施が確認できない場合には、適切な代替案が提供されるよう東京2020組織委員会に連絡してください。
- これらの宿泊施設は、施設や滞在客が期待される基準に従っていることを確保するため、定期的に監督されます。

*アスリートとは2メートルの距離を保つ必要があります。

⊕ 移動について

- 公共交通機関を使用してはいけません。バスやフリート、ハイヤー（東京2020組織委員会がステークホルダーに対して専属的に提供する特別なサービス）といった大会専用車両のみを使用してください。
- すべての大会専用車両は、下記の公式な日本の衛生プロトコルに従って運用されます。
 - マスク着用義務、手指消毒の徹底、会話の制限
 - 車両に応じて乗客の間のフィジカル・ディスタンスをできる限り確保する措置
 - ドライバー席と乗客席の間のパーティション
 - 空調を通じた常時の換気
- 飛行機や新幹線を利用して地方会場など遠距離にある用務先に行く必要がある場合は、限定的に利用することができます。東京2020組織委員会は、各ステークホルダーに対して、利用可能なフライトや新幹線の情報を提供します。
- 東京2020組織委員会は、航空・鉄道会社等と連携して予約を管理し、空港・駅の利用者や乗客との間で適切な距離が確保されるようにします。

⊕ 食事について

- 選手村に滞在している場合は選手村又は競技会場で食事をとってください。
- 選手村及び競技会場の食事施設では、フィジカル・ディスタンスの確保や衛生管理をしてください。

詳細はp.51「選手村飲食関連情報」をご確認ください。

- **選手村以外で滞在している場合**、他の人と食事をする際に感染リスクが高まることを考慮し、他の人々、特に日本に14日以上滞在している大会関係者と一緒に食事をするのは避けてください。
- 食事は、新型コロナウイルス感染症対策の施されている下記のいずれかの場所で行ってください。
 - 大会会場におけるケータリング施設（推奨）
 - 宿泊先内レストラン
 - 自室内でのルームサービスやデリバリー
- 東京2020組織委員会は、ホテルに対して、充実したルームサービスとクラブアンドゴーの提供を要求します。

ソーシャル

- 競技や役割、また場所によっては追加的な規則が適用される可能性があります。詳細はp.45「各競技で共通する運営原則」を確認してください。
- 開会式、閉会式には、追加的な規則が適用されます。これは東京2020組織委員会とIOC/IPCにより策定されます。
 - 表彰式のメダル授与は競技会場で行われるため、アスリートおよびプレゼンターはマスクを着用する必要があります。その他の具体的な情報については大会前に共有されます。



衛生管理

- マスクを常時着用ください。ただし、練習時、競技中、食事中、就寝時、インタビュー時は除きます。
 - ④ - なお、フィットネスジム等、選手村内でのトレーニングにおいては、マスクの着用が求められます。
- 熱中症を避ける観点から、屋外で他者との距離を2メートル以上確保できる場合はマスクを外しても構いません。[WHOのマスク着用規定](#)を参照。
 - ④ - マスクを着用する前後に手指の消毒をして、目、鼻、口になるべく触れないようにしてください。可能な限り、石鹸と温水を使用し、30秒以上手洗いを行ってください。または手指消毒剤を使用してください。
 - マスクが湿ってきた場合は新しいマスクに交換し、また、毎日洗濯してください。
 - フェイスシールドはマスクの代替として認められません。フェイスシールドは目の周囲を保護するために使用されるもの、あるいはマスクが着用できない状況にいる場合に使用されるものです。
- 手洗いは、可能なかぎり、石鹸と温水を使用し30秒間以上、定期的かつ徹底的に実施してください。または、手指消毒剤を使用してください。
- 大声を出したり、歓声を上げたり、歌うことは避けましょう。拍手などの飛沫が飛ばない方法で選手の応援をお願いします。
- 換気が可能な部屋では、少なくとも30分に1回、数分間空気の入れ替えをしてください。
- 物品の共有は避け、他者が使用したものは必ず消毒してから使用してください。
- 食後は、使用したテーブルの消毒をしてください。
- 清掃プロトコルや衛生対策が強化されている競技会場や宿泊施設が提示するルールに従ってください。

パラリンピックの 考慮事項

- 近距離で他者からの介助が必要な人々に対して、2メートルの距離の確保は強制されません。
 - 支援を行う際は、常にマスクを着用してください。
 - 支援をした後は、手指の消毒をし、最低2メートルの距離を確保しましょう。
 - 可能な限り物理的な接触は最小限に抑えるよう心掛けてください。
- 読唇や明瞭な発音、または顔の表情でコミュニケーションをする人と会話をする、あるいは介助する場合は、マスクを一時的に外すことができます。その場合は最低2メートルの距離を保ち、終了後は可能な限り速やかにマスクを着用してください。
- 車いすやその他の移動支援機器は、特定の状況で他者（例：運転手など）に扱われることがあるので、除菌シート等で触れられる箇所を定期的に消毒してください。
- 無症状（緊急入院が必要ない場合）のパラリンピック選手及びチーム役員の隔離施設に関しては、別途お知らせします。アクセシビリティの要件、補助を必要とするパラリンピック選手及びチーム役員のアクセスについては検討されアナウンスされます。
- 競技（パラサイクリングや5人制サッカーなど）によっては、操縦者やコーチが視覚障がい者選手とコミュニケーションをとるため、大声を出すことが重要なケースもあります。このような特別な状況においては大声を出すことは許可されますが、マスクの着用とフィジカル・ディスタンスの確保は遵守してください。

日本からの 出国

感染のリスクを減らし、安全で成功裡の大会を保証するために、日本での滞在期間は最小限に抑えられています。

出発から目的地に到着するまで、衛生面やフィジカル・ディスタンスに関する規則を含め、引き続きプレイブック及び日本政府から求められる対策や要件に従ってください。

⊕ コロナ対策責任者によるサポート

- 新型コロナウイルスに関して、国際間の移動や出国先での入国について不明な点は、コロナ対策責任者に確認してください。



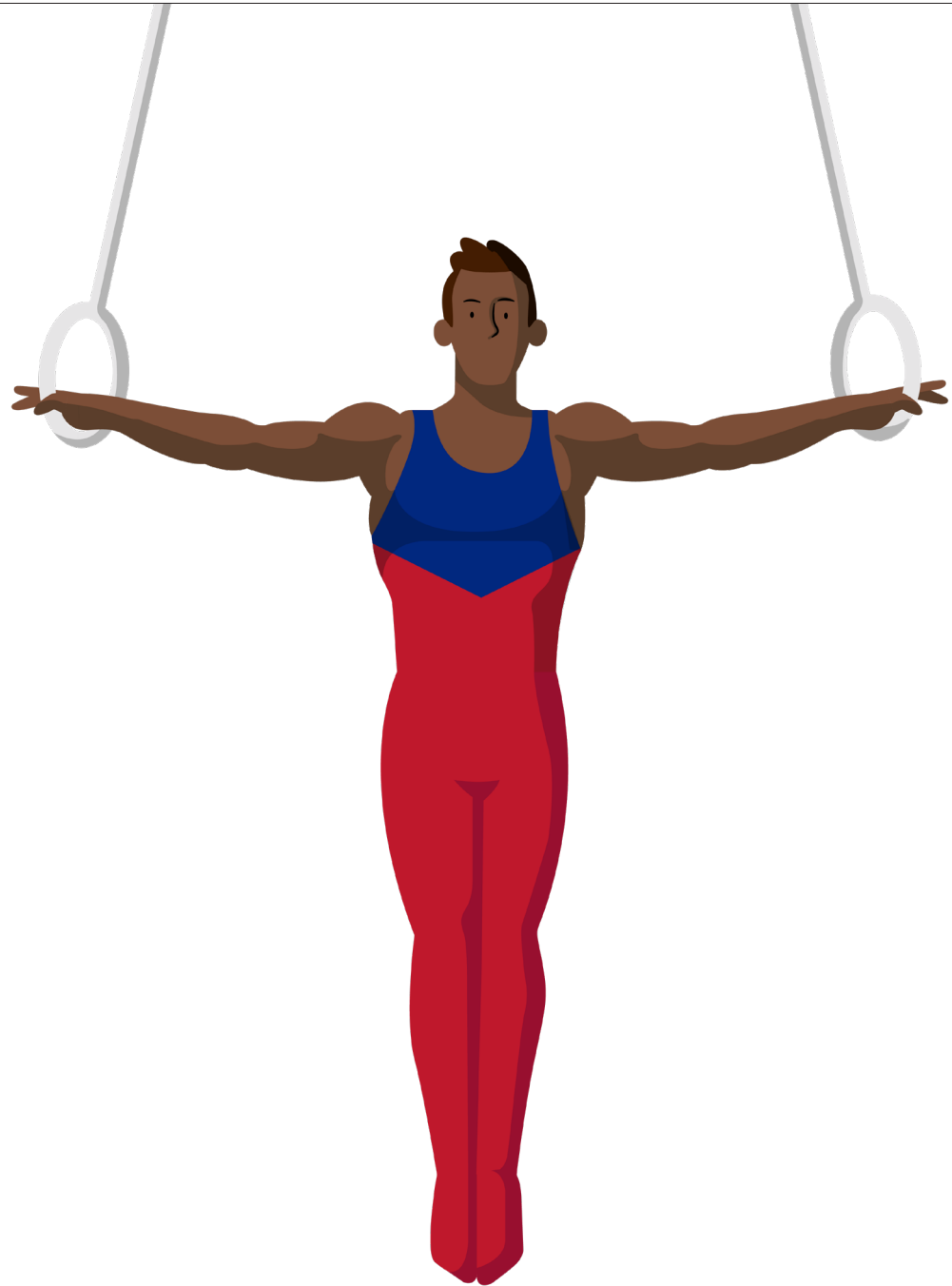
検査・行動管理・ 隔離

- 選手村からの出発は、NOC/NPCの指示に従ってください。アスリートおよびスポーツ固有のチーム役員は、競技終了後または敗退したとき（いずれか早い方）、48時間以内に出発する（選手村を離れる必要があります。詳細は、「オリンピックビレッジ滞在期間ガイドライン」及び「パラリンピックビレッジ滞在期間ガイドライン」を参照してください。
- 大会後のホストタウン交流プログラムに参加する場合は、受け入れ責任者となる自治体とよく相談してください。
- 出国先、および経由する国の最新の入国条件を確認してください。
- 日本から帰国するために検査及び陰性結果証明が必要となる場合は対応策が提供される予定です。
- 空港への移動は、大会専用車両を使用します。
- 目的地に到着後は、到着後の隔離の必要性を含む当該地の新型コロナウイルス関連規則に従ってください。

パラリンピックの 考慮事項

- オリンピック閉会后、パラリンピックに参加するために引き続き東京・日本に滞在する全ての大会参加者は、本プレイブックに規定する行動規範やルールに従う必要があります。
- ⊕ 日本を出国し再入国する必要はありませんが、オリンピックでの役割を終えて出国した後に、パラリンピックのために再入国することは可能です。再入国時は、改めて日本入国後14日間に課されるルールに従ってください。

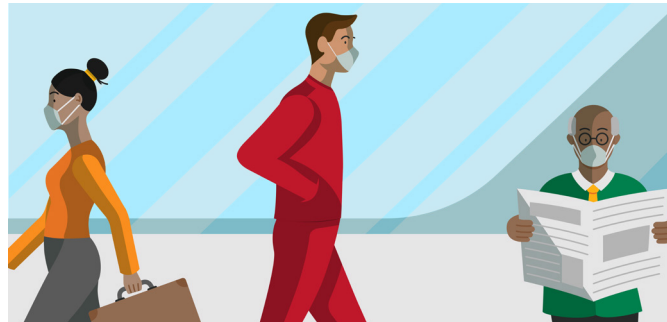
お読みください



出発前



私は[ファン][スペインのバスケットボール選手]です。私は[気候に慣れるための数日間を確保するため、7月19日の午後]に日本へ出発予定です。



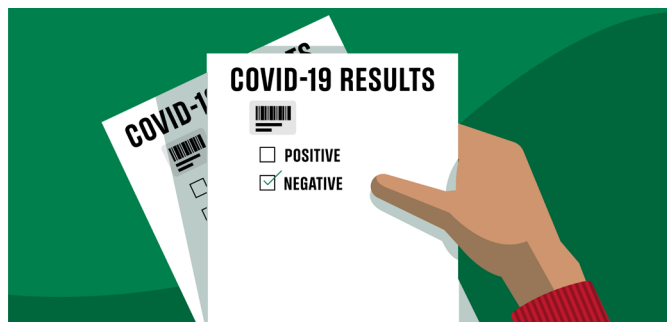
私は、出発から96時間以内に検査を2つ受けなければなりません。会う人についてはよく気をつけ、出発前14日間の健康モニタリングを行っていますので、心配はないと確信しています。



[7月15日 17:00]、私はCOVID-19 検査を受けるために自宅近くの承認された検査機関に向かう途中です。検査証明書に全ての必要な情報が盛り込まれか、また発行が間に合うかどうか確認します。



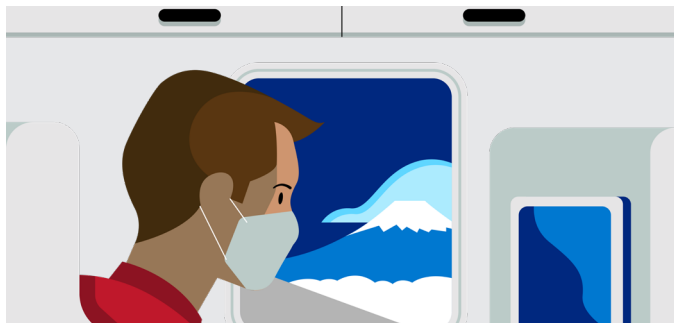
[7月17日 10:00]、昨日、検査の陰性結果が戻ってきました。これは素晴らしいニュースです。私は今、別の検査を受けに行くところなので、7/19に渡航するために、2つの有効な検査証明書を取得します。



[7月19日9:00]、私の検査はどちらも陰性でした。検査結果を持参すべく、今日の午後のフライトに向けて準備をしているところです。スマートフォンを充電し、アプリをインストールし、日本到着時に必要な書類を機内の持ち込みカバンに忘れないようにしています。

*検査が陽性の場合、当該地の規則に従って隔離を開始し、直ちにコロナ対策責任者 (CLO) に報告して次のステップについて話し合ってください。

日本への渡航および入国



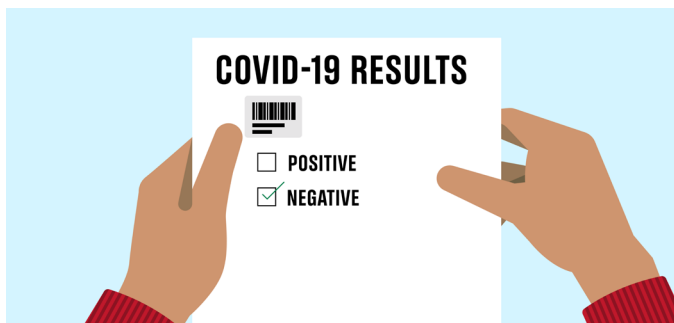
[7月20日 10:00]、私は日本の空港に到着し、飛行機から降りるところです。すべてのドキュメントと携帯電話の準備ができています。



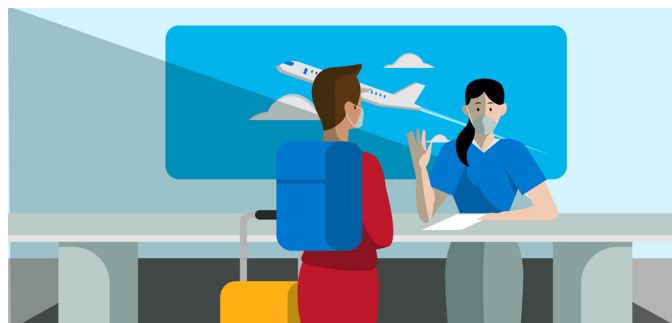
私は飛行機を降りてCOVID-19検査に行くとともに、陰性検査結果と必要な書類を含むCOVID-19文書を検疫官に提示する必要があります。



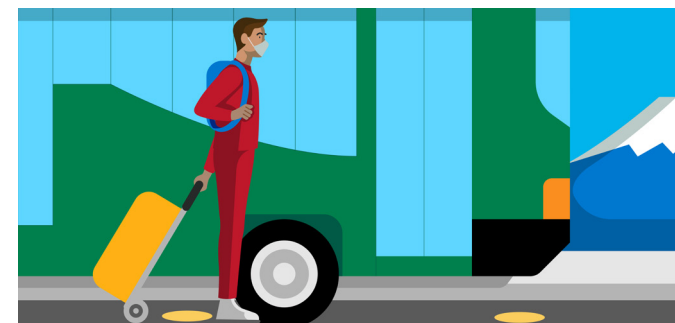
私は空港でCOVID-19検査を受けたばかりで、専用の場所で結果を待っています。



私はテストが陰性であることが通知されました。必要な書類はすべて検疫官によって確認され、到着プロセスを続行できます。

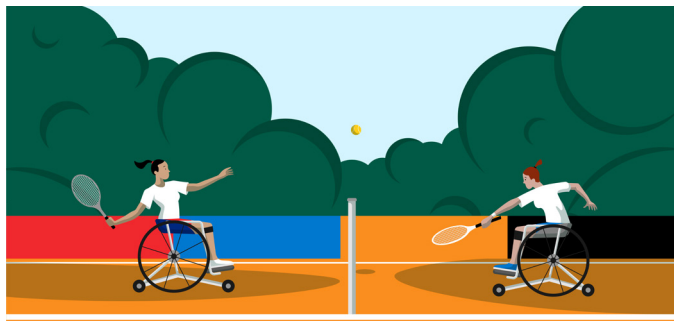


私はこれで日本に入国する準備ができました。最初にPVCを有効化してから、必要な書類を入国管理局に提示します。その後、バッグと競技用品を受け取り、選手村への輸送ロードゾーンに移動します。



私はバッグと競技用品を持って、選手村行きのTAバスに乗り込みます。いよいよ大会を始める準備です。

スクリーニング検査



私は[ローレン]、パラリンピック選手村に滞在しているテニス選手です。



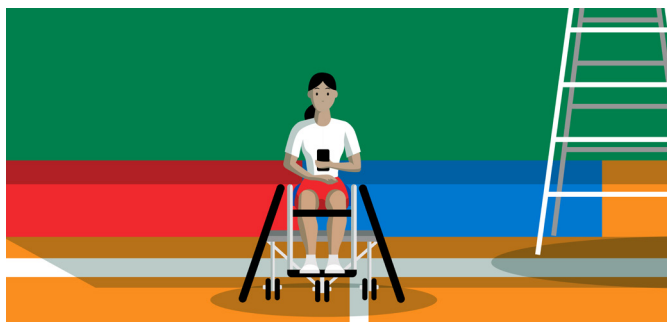
[8月28日夕方]私はスクリーニング検査予約システム（STS）から、次の検査は明朝であるとのリマインド通知を受け取りました。私のCLOは予め私のスケジュールに従って検査を手配しています。



[8月29日9:15] 早朝練習を終え、今、定期のスクリーニング検査を受けに向かっています。原則として、大会期間を通じて毎日、スクリーニング検査を受けます。

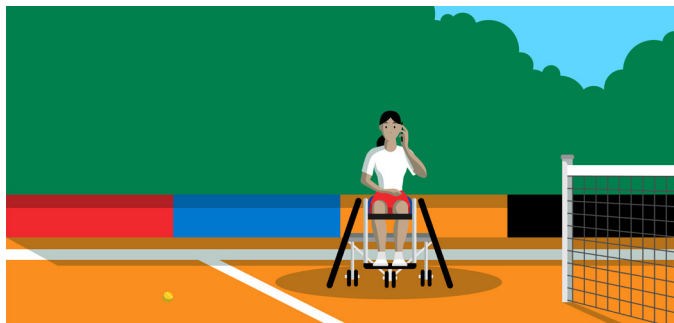


[10:00] 私は抗原定量検査に使用する唾液サンプルを1つ提出しました。もし検査結果が陽性または不確定だった場合は、この提出した同サンプルが、PCR検査により分析されます。

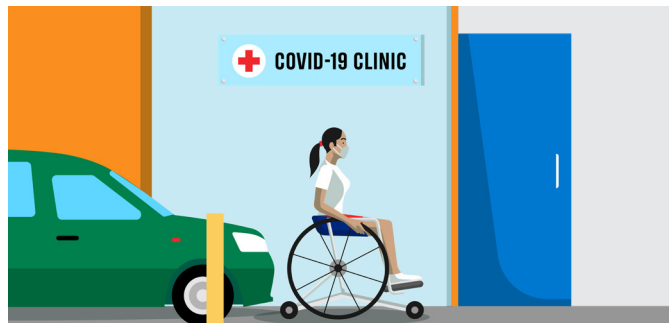


検査結果が陽性の場合にのみ通知されます。結果は12時間以内に入手可能になります。陽性だった場合、確定用のPCR検査を受ける必要があります。万が一に備えて、携帯電話には注意を払っておきます。私のCLOも私の検査結果にアクセスできます。そのような時までには、予定通り毎日のスケジュールをこなしていきます。

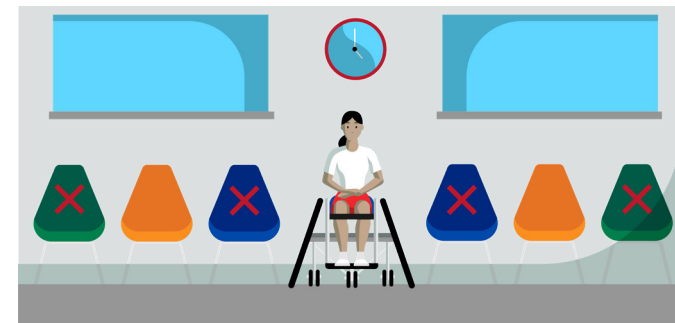
陽性の場合



[16:30]私は練習コートにいます。私はCLOと話し、定期検査における2種類の分析結果のいずれも陽性だったという通知を受け取りました。



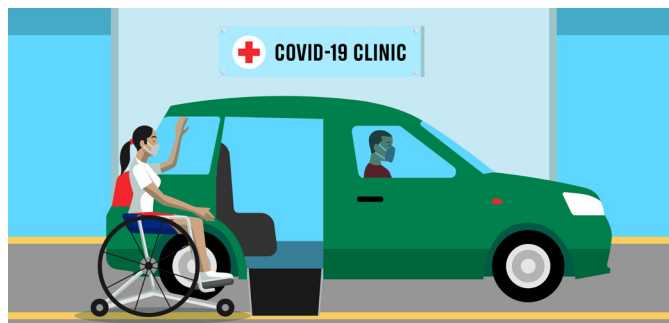
確定用のPCR検査のために、すぐに選手村ポリクリニックにあるCOVID-19クリニックに直行します。私はCLOと話し、安全に診療所に連れて行ってもらうために専用車両が手配されました。



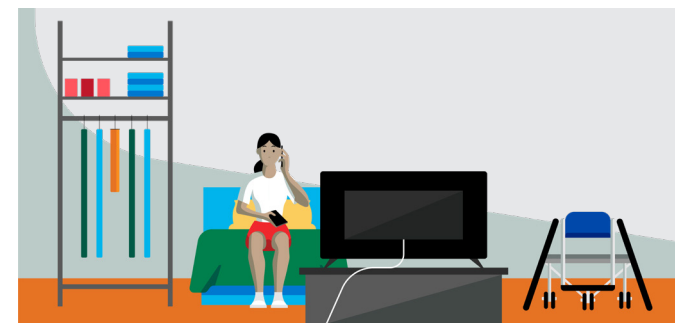
私は確定用の鼻咽頭PCR検査を受けたばかりで、今はCOVID-19クリニックで結果を待っています。3~5時間で結果が出るはずですが。



確定検査は再び陽性でした。私は心底がっかりしていますが、他のアスリートを守る必要があることは理解しています。CLOの指示に従って、選手村の外にある隔離施設に向かうことになりました。



Tokyo 2020は、私を隔離施設に連れて行くための特別な輸送手段を手配しました。心配ですが、CLOとは常に連絡を取り合っており、施設に持ち込む私の荷物についても手配してくれています。



私のCLOは日本の保健当局と協力して、隔離状態を維持する必要がある期間を決定します。快適な状況で、かつ、CLO、チーム、家族/友人と連絡を取り合うことができると聞いて、私は安心しました。

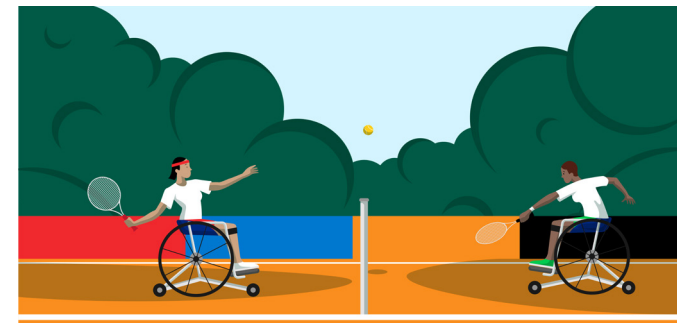
濃厚接触調査対象者となった場合



私は[アンドレア]です。大会で競技に参加している[もう一人のテニス選手]です。[8月29日14:00]昨日の午後、ローレンとテニスをしていたため、私は濃厚接触調査対象者になると思われるとCLOから連絡がありました。濃厚接触者となった場合は、COVID-19クリニックで鼻咽頭PCR検査を行う必要があります。

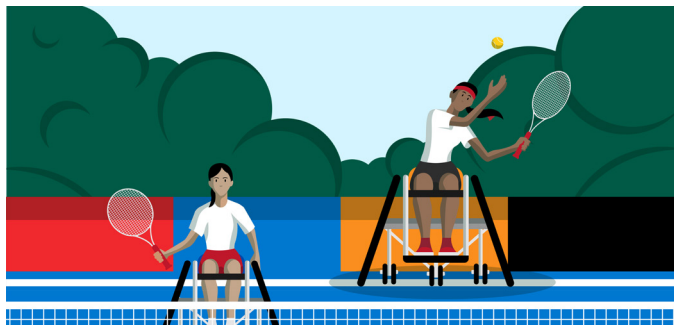


私はCLOに連絡したところ、地域の衛生当局からの連絡を待つように言われました。その後、衛生当局から連絡があり電話で幾つかのこと（ローレンといつからいつまで一緒にいたのか、マスクをしていたのか、など）を聞かれました。

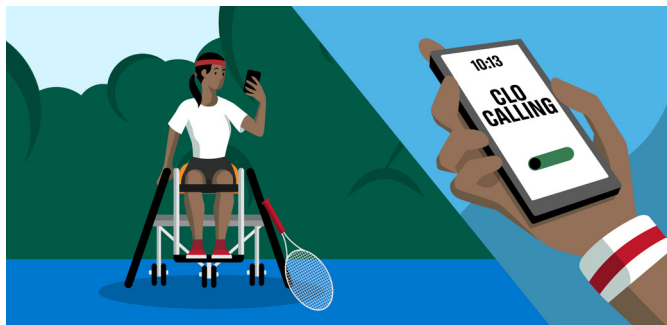


その後、衛生当局内で確認がなされ、CLOから私に対し、私が昨日のトレーニングの間ずっとローレンから離れていたため、濃厚接触者とはみなされないと言われました。これで予定していた競技のスケジュールに戻ることができ、次の予定されているスクリーニングテストは予定通り明日行われます。

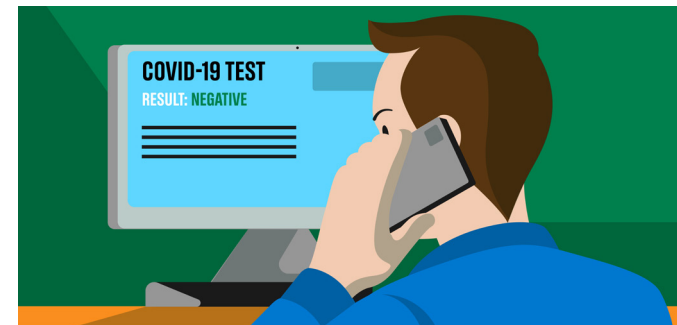
大会時：濃厚接触の場合の競技復帰



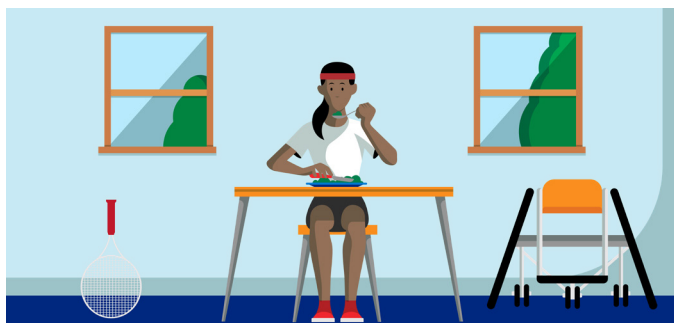
私は[プリヤ]です、大会で競技に参加しているもう一人のテニス選手です。今は[8月29日18:00]です。私もここ数日、練習のためローレンとテニスをしていました。



CLOから連絡があり、私とローレンのトレーニングと、一連のインタビューの結果、濃厚接触者と判定されたと通知されました。



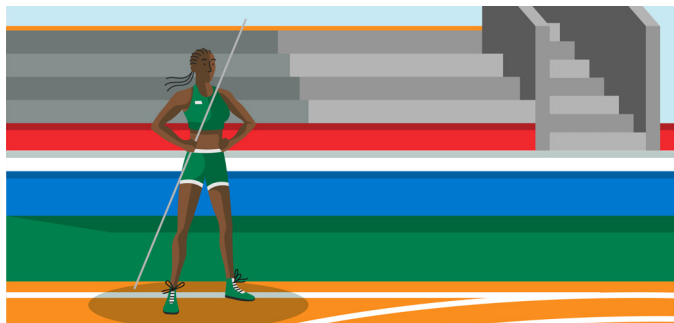
濃厚接触者と判定されたため、COVID-19クリニックで検査を受けました。幸いなことに、検査結果は陰性でした。CLOはテスト結果を伝えてくれると共に、次のステップの助けをしてくれます。



私のケースは、ウイルスを拡散させる可能性について見極めるためレビューされます。競技に復帰するためには、対策の強化を行う必要があります。日々鼻咽頭のPCR検査や、例えば個室への移動、個別での食事、専用の個別車両の使用、一人の練習など、他者との接触を最小限にする必要があります。

*なお、それぞれのケースは、専門家諮問グループ (RAEG) により、日本の保健当局と緊密に連携しながら個別に判断されます。その決定には各IFの同意も必要となります。

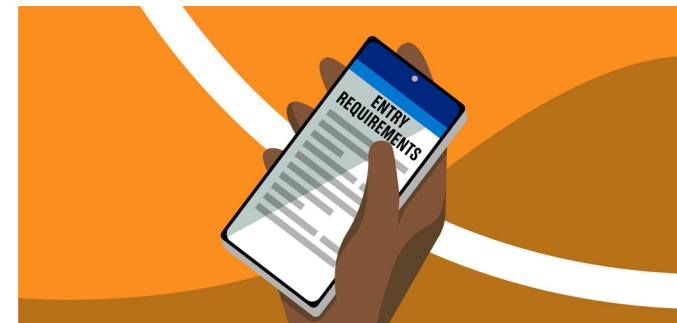
日本からの出国



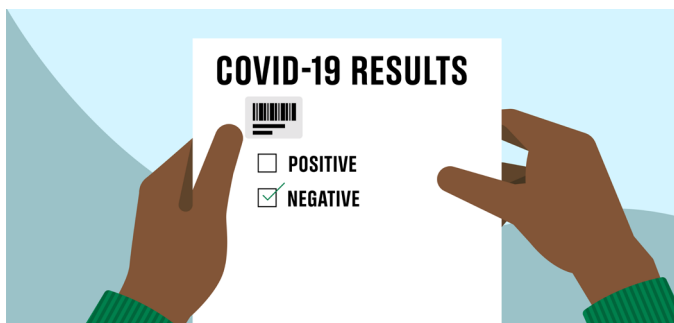
私は[アイシャ]、大会で競技に参加しているアスリートです。[8月6日22:00]です。私はちょうど最後の競技が終わったので、48時間以内に出発する予定です。CLOと話をし、出発の準備を手伝ってもらっています。



ナイジェリアに戻るには、COVID-19のPCR検査の陰性結果証明が必要です。今は[8月7日の朝]です。私は選手村で検査を受けに行く途中です。



私はまた、帰国時に検疫などの追加の予防措置を取らなければならない場合に備えて、自室においても入国要件に注意を払っています。私のCLOもこの件について十分に対応しており、最新情報を共有してくれます。



検査の結果が届きました。幸いにも陰性なので明日帰国する予定です。重要なのは、帰国便に乗るために提示する必要がある検査の証明書を持っていることです。



私は空港にいます。航空会社のチェックインデスクと国境管理スタッフに必要な書類を見せました。すべてが順調で、私は本当に思い出に残る大会を振り返りながら、飛行機の搭乗の準備をしています。

競技における対策

プレイブックの原則に加えて、以下の原則が東京2020大会の競技運営に適用されます。

競技別の新型コロナウイルス感染症対策の詳細については、東京2020組織委員会およびIOC/IPCが各IFと協力して作成中です。

更なる情報は2021年5月末までに、チームリーダーズガイドを含む競技関係の出版物に掲載されます。

全体的な原則

- フィジカル・ディスタンスを確保するために、全体のアクセデーション数が削減されています。また、会場運営計画は変更され、会場へのアクセスは運営上必要なものに厳しく制限されます。
- また、感染を防ぐため、必要に応じて飛沫防止板を使用するとともに、会場やエリアのレイアウトはフィジカル・ディスタンスを保つように設計されます。
- 会場や会場内の特定のエリアに入る必要があるかどうかを判断する際には、このことを念頭に置き、滞在時間を可能な限り短くするようにしてください。
- 一般的に、すべての備品は使用の間に消毒してください。利用者は使用の前後に手を消毒してください。

- タオルやドリンクボトルなどの備品は共有しないでください。
- ドーピングコントロールの通知を受ける際、アスリートはマスクを着用してください。

選手村

スポーツインフォメーションセンター(SIC)

- フィジカル・ディスタンスを確保するため、フットサインが付けられます。
- デスクには飛沫防止板が設置されます。
- トレーニングの予約など、いくつかのサービスについては、オンラインで実施されるか、もしくは競技会場での対応のみとなります。
- 書類の印刷は推奨されません。印刷する必要がある場合は、不必要に他者と共有しないでください。

ジム

- 備品は使用の前後に消毒してください。
- 選手村でのフィットネス・トレーニング中、アスリートはマスクの着用が求められます。

競技前

競技特有のアクティビティ（組み合わせ抽選会、備品検査、計量など）

- 可能な場合、オンラインもしくは屋外で実施されます。
- どちらの方法も利用できない場合、フィジカル・ディスタンスを確保するため参加者数を限定し、適切な換気の下、実施されます。

競技における対策

アスリート準備エリア

スポーツインフォメーションデスク(SID)

- フィジカル・ディスタンスを確保するため、フットサインが付けられます。
- デスクには飛沫防止板が設置されます。
- トレーニングの予約など、いくつかのサービスについては、オンラインで実施されるか、もしくは競技会場での対応のみとなります。
- 書類の印刷は推奨されません。印刷する必要がある場合は、不必要に他者と共有しないでください。

フィジオエリア

- 備品は使用の前後に消毒してください。
- フィジオは、アスリートに接触する前後に手指消毒をしてください。

氷およびアイスバス

- 氷を利用する前に手指消毒をしてください。
- アイスバス利用時には、他者との距離を確保し、対面とならないよう一人ずつ、もしくは少人数で使用してください。

タオル

- タオルの共有はしないでください。また、使用後は回収ボックスに入れてください。

更衣室

- シャワーや着替えの際には、フィジカル・ディスタンスを保つようにしてください。混雑している場合は、待つことになるかもしれません。
- 可能であれば、会場ではなく、選手村の施設を利用してください。

ウォームアップエリアおよびアスリートコールエリア

- アスリートは、ウォームアップ時にはマスクを外すことができます。
- ウォームアップ中、アスリートやチーム役員が各々の役割を果たすため、必要に応じてアスリートとの距離のルール(2メートル)に例外が適用されます。

アスリートおよび技術役員ラウンジ

- ラウンジへのアクセスは、アクセス権限があり、ラウンジに行くべき目的がある方に厳しく制限されます。
- フィジカル・ディスタンスが確保できない場合、テーブルに飛沫防止板が設置されます。

- 飛沫の曝露リスクを低減するため、食品陳列エリアに飛沫防止板が設置されます。
- 可能な場合、飲食物はスタッフが提供します。スタッフが提供できない場合、食べ物を運ぶための使い捨ての道具および手袋が提供されます。
- 飲料ディスペンサー等、多数の人が利用するものは頻繁に消毒されます。

リペアサービス

- 技術者は、用具をアスリートに返却する前に消毒してください。

競技中

競技エリア内もしくは競技エリア付近の競技運営関係者

- 適切なフィジカル・ディスタンスを確保することができない場合、飛沫防止板の設置など、代替の対策を取られます。
- これは技術役員および備品の技術者など、競技エリア内もしくは競技エリア周辺の全ての競技運営関係者に適用されます。
- 各人の役割を果たすために、役割に応じて例外が設けられることがあります。

競技における対策

競技エリア内もしくは競技エリア付近のアスリート席エリア

- 常時マスクを着用してください。
- チームベンチでは、アスリート間のフィジカル・ディスタンスの確保は求められていません。
- アスリート以外の方は、可能な限りアスリートから2メートル離れてください。

スポーツプレゼンテーション

- 演者、アナウンサー等のマスクの着用については個別対応とします。
- アナウンサー、インタビュアー等はアスリートから2メートルの距離を取り、常時接触を避けてください。
- ヘッドセットやマイクなどの備品は共有せず、使用後は消毒をしてください。
- PA機器を複数人で共有する場合、定期的に消毒してください。

競技後

ミックスゾーンおよび記者会見

放送権者

- アスリートとインタビュアーとの距離を2メートル以上に保つために必ずブームマイク（長竿のような仕様マイク）を使用してください。
- すべての会場のミックスゾーンの床にはアスリートとインタビュアーとのフィジカル・ディスタンスを2メートル確保するための印（マーク）が付けられます。
- 原則として1人のアスリートに対するインタビュー時間は約90秒以内にしてください。

プレスおよび放送権者

- 全てのインタビュアーはマスクを着用してください。アスリートはインタビュー時にマスクを外すことができます。

記者会見

- 全ての記者会見は専用のプラットフォームを用いてオンラインで利用可能です。ライブでの質疑も可能です。

ミックスゾーンや記者会見場に加えて、IBC、各RHBのスタジオ、スタンドアップポジション、MPC、選手村のビレッジプラザでもアスリートのインタビューが可能です。詳細は「放送権者向けプレイブック」もしくは「プレス向けプレイブック」をご参照ください。

表彰式

- メダル授与を行う表彰式は競技会場で行われます。アスリートやプレゼンターはマスクの着用が求められます。その他、具体的な情報は大会が近くなりましたらお知らせします。

会場における対策

プレイブック「原則」に加え、Tokyo 2020オリンピック・パラリンピック大会における会場運営には以下が適用されます。(会場固有の具体的な対策はTokyo 2020とIOC/IPCによって検討されます) 更なる詳細は、会場運営計画において2021年5月末までに示される予定です。

フィジカル・ディスタンス

• アスリートとの動線分離

- アスリートと他の関係者の導線は、運営上やむをえず導線管理など追加的な対策が為されている場所などを除き、物理的または時間的に分離された形で設定されます。

• フィジカル・ディスタンスの確保:

- プレイブック上のフィジカル・ディスタンスは、アスリートとスタッフは常に2メートルを保ち、両者の濃厚接触を避けます。ただし、物理的に2メートルのフィジカル・ディスタンスを確保できないエレベーター等をやむを得ず使用する場合には人数制限や会話禁止等を行います。
- 大会スタッフは案内誘導等の人の移動を管理する訓練を受け、PSAや検温エリア、コンコース、トイレ、売店、シーティングボールエントランス、

会場の出入口など、待機レーン含め人が集まりやすい場所に配置されます。諸室の収容人数が最大収容人数を超えないように、会場への出入りをカウントし管理されます。

- サイネージはフットサインを含め、必要な箇所に設置されます。
- また、フィジカル・ディスタンスの確保が難しいエリア(飲食物の売店、チェックインエリア、カウンター、作業エリア等)には、飛沫防止対策(仕切り/スプラッシュガード)が設置されます。

マスクの着用

- マスクは、競技やトレーニングを行う選手を除き、すべての会場で常に着用しなければなりません。
- マスクは飲食後すぐに着用する必要があります。

清掃・消毒

• 手指消毒液の設置

- 手指消毒液は各会場の様々な場所への設置される予定です。例) 各会場の出入口、医務室、飲食エリア、トイレ、ミックスゾーン、プレスデスク、コメンタリーポジション、シーティングボウル階段、

コンコース、ワークルーム、スポーツインフォメーションデスク、氷とタオルの配布ポイント、更衣室、選手ウォームアップとコールエリアとジム 等

- PSAやコンコースのような全ての公共エリアでは、観客が手指消毒液を利用できるよう検討しています。
- 手指消毒液は様々な種類の障がいのある方でも利用できるよう設置される予定です。

会場における対策

• 消毒

- ドアノブ、スイッチパネル、手すり、机、エレベーターのボタン、食事の際のテーブルなど高頻度で接触が想定される箇所について定期的に除菌清掃を行います。
- 食事の後のテーブルや共用の器具(マイク、スポーツ用品、フィジオベッドなど)などは、使用の前後に消毒してください。

サイネージとアナウンス

- 対策に関連した様々な専用サイネージ(ピクトグラムを含む)が、対策(マスクの着用、フィジカル・ディスタンスの確保、衛生管理、消毒、シーティングボウルにおける行動等)の尊重を支援するために設置されます。これは視覚障がい者のための適切なアクセシブル標識も含まれます。
- メッセージは、場内放送およびビデオ・ボードでも配信される予定です。

会場入場口 PSA&VSA (車両スクリーニングエリア) の運用

ー 検温の手順

• 会場入場時の検温(※現在調整中)

- 競技会場へ入場する前にすべての方に検温を実施します。
- 競技会場の各入場口前(PSAやVSAの前)に最初の検温エリアを設置します。サーモグラフィまたは非接触型体温計で計測されます。
- 37.5°C以上となった場合はスタッフにより非接触型体温計にて再度検温します。
- 再び37.5°C以上の発熱があることが判明した場合、二次検温エリアへ移動します。
 - 二次検温エリアでは一時休憩後、最大2回検温します。(接触型または非接触型体温計で計測)
 - 37.5°C以上の場合、会場へは入場できません。
- 各検温エリアの場所は会場毎に異なります。

隔離スペース

- 各会場の隔離スペースは医務室に近接した場所に設けられます。
- 発熱者及びCOVID19症状やその他病気の症状を呈する体調不良者はこのスペースで一時的に隔離されます。

会場における対策

飲食オペレーション

飲食を行う場面は感染のリスクが高くなるため、特に注意してください。飲食エリア（売店、コンコース、シーティングボウルエリア、ラウンジ、フィールドキャストダイニング、アクレディテーションステークホルダーの飲食エリア等）における追加対策：

- 飛沫防止板（仕切り/スプラッシュガード等）の設置
- 入口等・受付での手指消毒液設置
- 机等を定期的に除菌・清掃
- テーブル等の定期的な消毒と清掃
- サイネージの掲示（手洗い・マスクの着用ルール等）
- ウォーターサーバーや電子レンジの除菌消毒
- 待機列フットサインの設置（1メートル以上のフィジカル・ディスタス）
- エリア室内の換気
- スタッフによる手袋の着用
- 手洗い用石鹸（ポンプ式）の設置
- 3密（密集、密接、密閉）を回避するため、可能な限りダイニングエリア外での食事

選手村における飲食

プレイブック「原則」に加え、選手村メインダイニングホールにおいては以下の対策を実施します。詳細は東京2020組織委員会とIOC/IPCにて検討し、NOC/NPCにお示しをする予定です。

メインダイニングホール利用者の分散対策

- 大会関係者アプリ等でメニュー情報を事前に周知します。
- 各フロアの混雑状況はスマートフォンアプリで定期的に連絡されます。
- 食事は混雑回避のため、可能な限り滞在時間短縮し、終了後ただちに退室のご協力をお願いします。
- 以下の場所でも朝食を提供します。
 - カジュアルダイニング：朝食時間帯（6:00～10:00）にメインダイニングホールの「World」コーナー提供メニューを用意します。
 - グラブアンドゴー：提供されるメニューを拡大します。
- 当日、競技がない選手及びチーム役員は利用時間を混雑する時間帯を避けていただくよう調整をお願いします。
- フィジカル・ディスタンス確保のために、座席数が制限されます。（例えば、6人用のテーブルを4人用に調整される等）

飲食エリア等における対策

- 手指消毒液は入口や出口、サービスライン近くを含む主要な場所に設置されます。スタッフとサインージュを、手指消毒を促すために使用します。
- サインージュとフロアマークを、待機列のフィジカル・ディスタンス確保のために使用します。
- 食事を提供する際、スタッフは、マスク・手袋を着用の下、フィジカル・ディスタンスをできるかぎり確保します。
- フィジカル・ディスタンスの確保が困難な場所（例：サービスステーション）では、飛沫防止板等が使用されます。
- 複数の人の手が触れる場所を定期的に清拭消毒します。
- 空気循環を良くするために常時換気を実施します。

選手とチーム役員には以下が求められます。

- 飲食時以外は常時マスクを着用してください。
- 入場時・退場時や料理取得時、食べる直前に手指消毒を定期的に行ってください。
- 食事を受け取るために待機の列に並ぶ場合には、フットサインも従って、前の人から最低1メートル以上離れるようにしてください。
- 食後は、テーブルと座席を清潔にするために、除菌シートで拭いてください。これはスタッフにより行われる清掃作業に追加して必要になるものです。

*選手からは2メートル

スマートフォン アプリ

アプリケーション

日本訪問者はすべてスマートフォンを持参し、2つのアプリケーション（健康観察アプリ、接触確認アプリ（COCOA））をダウンロードし使用することが求められます。これらは日本への入国に際し、日々の体調報告、コロナ感染者との濃厚接触者の追跡を支援してくれます。それぞれのアプリのより詳細な概要は以下の通りです。

健康観察アプリ

概要

健康観察アプリは現在日本政府が開発中で、リリースは6月中を予定しています。

東京2020大会において、健康観察アプリは会場における感染予防やクラスター発生予防を支援します。日本への入国の際に求められる各種情報入力や渡航後の日々の健康情報の入力のため、このアプリケーションを日本へ渡航前にダウンロード、インストールする必要があります。

大会の参加者として、健康観察アプリをダウンロード後、使用を開始するためには、OIAC/PIACカード番号と、東京2020感染症対策業務支援システム（Tokyo 2020 ICON:

Infection Control Support System）から取得したアクセスコードを入力する必要があります。更なる情報はp.54をご参照ください。

機能

日々の健康報告

日本入国後、毎日、体温（体温計などを用いて測られた）、新型コロナウイルス関連の症状や体調不良が出ていないかについて入力する必要があります。入力された健康情報は、Tokyo 2020 ICONに転送され、厳重なデータ管理の下、それぞれのコロナ対策責任者と東京2020組織委員会の担当FAによるモニターを通じて、新型コロナウイルス感染症の拡散防止措置に活用されます。

出入国管理の機能

入国時に必要となる「質問票WEB」と同等の機能もあります。

対応言語

英語、日本語、フランス語、中国語（簡体字）、スペイン語、韓国語

プライバシーポリシーとデータ保護

プライバシーポリシーは、一人ひとりのプライバシーへの配慮を前提に、日本国における個人情報保護法の規律に従って準備されます。

ダウンロードリンク

アプリは6月中にリリース予定です。

スマートフォン アプリ

接触確認アプリ (COCOA)

概要

COCOAは、匿名性を確保しつつ、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受けることができますこのアプリは2020年6月にリリースされました。

COCOAは、スマートフォンの近接通信機能 (Bluetooth)、GoogleやAppleにより開発された接触通知の仕組みを利用しています。この仕組みは、同様の目的で様々な国に取り入れられています。

名前、電話番号、e-mailアドレスやその他の個人を特定するような情報を入力する必要はありません。濃厚接触情報は暗号化されて自身のスマホに記録され、14日後に自動的に消去されます。行政機関または第三者は、接触記録や個人情報を使用、収集することはありません。

日本に到着後にCOCOAをアクティベートする必要があります。

[英語でのCOCOAについての詳細情報のダウンロード](#)

対応言語

現時点では、日本語、英語、中国語
最終的な対応言語については調整中。

ダウンロードリンク

COCOAのダウンロードは以下のリンクを使用します。

[App Storeからのダウンロード](#)

[Play Storeからのダウンロード](#)

[プライバシーポリシー](#)

[利用規約](#)

東京2020感染症対策業務 支援システム

(Tokyo 2020 ICON: Infection Control Support System)

概要

東京2020感染症対策業務支援システム（以下、Tokyo 2020 ICON）は、東京2020組織委員会が新型コロナウイルス感染症対策として導入するシステムで、5月末のリリースを予定しています。

責任組織毎に任命されるコロナ対策責任者（COVID-19 Liaison Officer: CLO）は、本システムを利用して配下のメンバーの本邦入国に際して必要となる（例えば代表団の本邦活動計画書等）の書類をまとめて提出するとともに、健康管理実施状況の確認、検査陽性時の報告などを行うことができます。

CLOは5月に包括的なトレーニングとサポートを利用できるようになります。

健康報告アプリのアクセスコード

健康観察アプリのアクセスコードを入手するには、ICONのアクセスコード発行エリアに行き、指示に従ってください。アクセディテーションカード（旅券番号・運転免許証番号・マイナンバーカード・在留カード）の申請時に使用したものと同一身分証明書の詳細を入力し、Tokyo 2020 ICON 利用規約に同意する必要があります。

対応言語

日本語、英語（一部6ヶ国語：英語、日本語、フランス語、中国語（簡体字）、スペイン語、韓国語）

GPS位置情報の蓄積

万が一、感染が判明した際に、日本の保健当局の接触追跡プロセスをサポートするために、スマートフォン（Android/iOS）のGPS機能を活用して位置情報を保存します。日本への入国時に、日本政府の入国手続きに従って皆様のスマートフォンのGPS機能を設定してください。この機能によるバッテリーの消耗や、位置情報の保存のために消費されるメモリーはいずれも小さいものです。

よくある質問

Q1. スマートフォンを持っていない人はどうしたらよいですか？

A.1 全ての日本訪問者はスマートフォンを持っている必要があります。スマートフォンなしで到着した例外的なケースについての代替策は今後その可能性が検討されます。すべてのアスリートは選手村にてサムソンのスマートフォンを受けとれます。

Q2. すでに接触確認アプリを自国にて使っていますが、COCOAもインストールしなければいけませんか？もしそうならば、どのようにCOCOAに切り替えたらよいですか？

A.2 はい。日本政府はCOCOAのインストールを求めています。もしすでに、AppleとGoogle開発の接触確認アプリをインストールしているならば、COCOAを起動する前にそのアプリケーションをOFFにしてください。

Q3. もし、感染者との接触通知があった場合、どうすれば良いのか。

A.3 コロナ対策責任者にすぐに知らせてください。同責任者がその後の措置についてお伝えします。

Q4. 健康観察アプリによる健康状態の報告はいつから実施すればよいのか？

A.4 日本への入国時から健康情報の入力をお願いします。

Q5. 健康観察アプリのリリース時点において、既に日本に滞在する場合はいつから実施すればよいのか？既に日本滞在14日以上が経過している場合も必要か？

A.5 健康観察アプリによる健康状態の登録をお願いします。更なる情報はp.23 日本在住者-大会前を参照してください。

Q6. 指定のアプリをダウンロードできない場合はどうすればよいですか？

A.6 アプリがダウンロードできない国については、別途、Tokyo2020のFAからアプリをダウンロード・インストールするための方法をお知らせします。

Q7. 日本への到着後、2台目のスマートフォン（レートカードで入手、アスリート用のスマートフォンなど）にアプリをインストール/転送できますか？どのようにできますか？

A.7 はい、できます。2台目のスマートフォンで、アプリをインストール後、OIA/PIAC番号とアクセスコードでログインしていただくことを予定しております。

Q8. アプリは障がいを持つ人々の使用をサポートしますか？

A.8 はい、iPhone/Android OSの音声読み上げ機能で健康観察アプリをご利用頂けます。

ワクチン接種

ワクチン接種は感染対策に対して利用可能な1つの手段で、適切なタイミングと方法で行われます。IOCとIPCは、各国で定められたワクチンの優先接種を強く支持しています。

より多くの人々へワクチンが供給可能な環境となれば、IOCはオリンピックチームとパラリンピックチーム、そして大会に参加するすべてのステークホルダーにワクチン接種を呼びかけます。したがってIOCは各国・地域のNOCと連携し、アスリート、役員、およびステークホルダーが日本入国前に自国・地域のワクチン接種ガイドラインに従って自国・地域でワクチン接種を受けることを推奨および支援します。これは大会の安全な環境に寄与するだけでなく、日本の人々への敬意の気持ちから行われるものと考えています。

既に多くの国の政府が、各国のNOCとNPCと協議し、大会参加者へのワクチン接種に関して前向きに取り組んでいる。

注意: IOCは各国・地域のワクチン接種ガイドラインに沿ってワクチン接種を受けることを推奨しますが、大会参加に際しワクチン接種は義務ではありません。ワクチンを接種したか否かに関わらず、本プレイブックに記載されているすべての規則が適用されます。

コンプライアンスと 制裁

このプレイブックに記載の措置は、最新の科学的根拠、専門家によるアドバイスや他の国際的なイベントからの学びを元に検討されてきました。感染のリスクやそれに伴う影響は完全には排除できないこと、オリンピック・パラリンピックへの参加は自己責任の上であること、を同意していただくようお願いいたします。ここに記載されている措置がリスクを軽減するものとして適切であると確信しており、皆様のご協力とルールの遵守を期待しています。

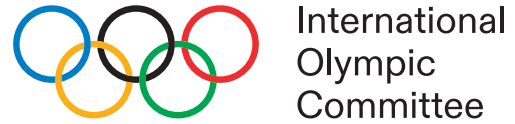
オリンピック・パラリンピックのアクレディテーションプロセスの一環として、皆様の組織はこれらの対策に関連した情報を皆様に周知します。特にプレイブックの遵守はアクレディテーションの付与と維持の条件になります。そして、場合によっては皆様の健康関連の情報を含む個人情報の処理に係る対策もあります。

このプレイブックの内容（これ以降の更新内容を含む）を注意深く読んで理解し、記載された規則、および、日本当局、IOC/IPC、東京2020組織委員会、自らの所属する組織によって発行される追加事項を遵守するよう願います。コンプライアンス遵守が、全ての大会参加者と開催国である日本のみなさまの健康を守り、大会を安全に開催するという共通目的を達成するための鍵となります。

プレイブックの不遵守

このプレイブックに記載された規則が守られない場合、オリンピックおよびパラリンピックへの参加、競技会場への入場、または競技への参加に影響を及ぼす可能性があります。また、違反（例えば、意図的な検査の拒否など）があった場合、アクレディテーションの剥奪、オリンピック・パラリンピックへの参加の権利が失われる可能性があります。

プレイブックに記載されている措置の中には、日本当局が権限を持つ出入国に関わる内容も含まれていることにも留意願います。これらの措置に違反した場合、14日間の隔離や、在留資格取消手続き及び退去強制手続の対象となりえます。



International
Olympic
Committee



**INTERNATIONAL
PARALYMPIC
COMMITTEE**



TOKYO 2020



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES



The Playbook has been developed jointly by the Tokyo Organising Committee for the Olympic and Paralympic Games 2020, the International Olympic Committee and the International Paralympic Committee.

All trademarks are the property of their respective owners.

© 2021 – International Olympic Committee – All Rights Reserved.